

平成30年度

個性重視の特別試験

(受験案内)

福岡県立三池工業高等学校

1 実施の趣旨等

- (1) 個性重視の特別試験（以下「特別試験」という。）は、入学者選抜に当たって、本校の特色にふさわしい個性（能力・適性、興味・関心、目的意識、学習意欲等）を有し、将来への目的意識を持って、本校教育に意欲的に取り組む受験生を見いだすために実施します。
- (2) 特別試験の結果は、調査書、学力検査の結果と併せて、選抜の資料として活用します。
- (3) 本校の特色及び求める生徒像は次のとおりです。

ア 本校の特色

本校は、工業の専門高校として創立109周年を迎え、2万余名の卒業生を工業技術者として全国に送り出しています。文武両道のもと、部活動では多くの部が県大会・九州大会・全国大会に出場して活躍しています。

また、学習面では、教科の選択制や少人数学習・習熟度別学習を取り入れて、就職希望や進学希望に対応できる教育課程を編成しています。

平成29年度より新たな学科編成を行い、さらなる学校の発展を目指しています。

(ア) エネルギー系（40名）

電気エネルギーを始めとした電気に関する分野を学び電気科に進みます。

(A) 電気科

電気は、社会のあらゆるところで使用されており、日常生活でなくてはならないものとなっています。電気科では、電気の基礎から応用までを幅広く学習します。また、各種検定試験や第一種・第二種電気工事士、第三種電気主任技術者などの国家資格も取得します。

(イ) メカトロニクス系（80名）

機械・電子・情報・制御等に関する分野を学び、電子機械科又は情報電子科に進みます。

(A) 電子機械科

機械や電気・電子に関する基礎理論の学習を基に、ロボット等のコンピュータ制御やプログラムおよびそれらをつくるための応用技術を習得します。また、工業に関する各種検定や技能検定2級（普通旋盤作業）などの国家資格も取得します。

(B) 情報電子科

電気・電子に関する基礎理論の学習を基に、コンピュータのハードウェアやプログラミングおよび電子回路・通信技術などの応用技術を習得します。また、工業に関する各種検定や技能検定3級（電子機器組立て作業）などの国家資格も取得します。

(ウ) 社会基盤系（40名）

土木、工業化学等社会基盤に関する分野を学び土木科又は工業化学科に進みます。

(A) 土木科

測量など土木に関する基礎理論の学習を基に、ダム、道路、橋、上下水道や都市計画等の応用技術を習得します。また、工業に関する各種検定や測量士補、2級土木施工管理技士などの国家資格も取得します。

(B) 工業化学科

工業化学に関する基礎理論の学習を基に、化学変化によって原料から新しい化学製品を製造する方法などの応用技術を習得します。また、工業に関する各種検定や危険物取扱者などの国家資格も取得します。

イ 求める生徒像

学習活動において、各系の専門教育の基礎・基本を習得し、応用力を身に付け将来工業の各分野において活躍しようという目的意識を有し、意欲的に学習に取り組む姿勢を持つ者。

特別活動等においては、運動競技や文化活動において、積極的に活動している者で、本校部活動に入部する意志のある者。ロボット競技大会や生徒研究発表会等に参加するチャレンジ性・創造性等を有する者。また、生徒会活動やボランティア活動等に参加していた者で入学後も継続して参加する意欲を持つ者。

以上のように、何事にも積極的に取り組む生徒を求めます。

2 試験日程等

(1) 期日

平成 30 年 3 月 8 日 (木) (学力検査の翌日)

(2) 対象者

福岡県立三池工業高等学校全日制課程の受検生全員
(ただし、推薦入学合格内定者を除きます。)

(3) 試験場

福岡県立三池工業高等学校

(4) 実施方法

ア 集合時刻

8 時 5 0 分

イ 集合場所

福岡県立三池工業高等学校 体育館

ウ 試験方法

集団面接

エ 会場

各教室

オ 内容

(ア) 入室, 受検番号確認, 面接方法の説明

(イ) 質問

(ウ) 終了, 退室

3 受験上の注意

(1) 個性重視の特別試験当日は、集合時刻を必ず守ってください。

(2) 受検票を忘れないように注意してください。

(3) 試験についての具体的な指示は、当日行います。

(4) 当日の遅刻者については、やむを得ない事情と本校校長が認めた場合に限り、受験できます。

(5) 当日の欠席者については、面接を受けることができなかった事情を証明する書類を出身中学校長を通じて提出してください。その結果、本校校長がやむを得ない事情によって欠席したと認めた場合に限り、当該欠席者の出身校長を通じて本人に追面接日時、会場等を通知します。この場合、指定された期日に追面接を受けなかった者については、再度の面接は行いません。

なお、追選抜の対象者については、追選抜の面接をもって追面接に代えることとします。